

## 事前評価個表

整理番号	8
------	---

地域（地区）名	せいもう 西毛	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	群馬県	対象市町村	たかさきし 高崎市ほか 8 市町村
事業実施期間	R2 年度 ～ R6 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、群馬県の南西部に位置し、総面積は 170 千 ha、森林面積は 111 千 ha（森林率 65%）である。民有林面積は 82 千 ha でスギ、ヒノキを主体とした人工林の面積は 45 千 ha（人工林率 55%）となっている。</p> <p>また、本地区の林道延長は 627 千 m（林道密度 7.7m/ha）であり、このほかに作業道 1,681 千 m が整備されており、林内道路密度は 28.2m/ha となっている。</p> <p>本地区の人工林については、VI～XVI 齢級の森林が約 90% を占めており、間伐等の整備が必要な森林が多くなっている。また、所有森林の現状は、小規模零細な森林所有者が多く、採算性の問題等から整備が進まない森林も多くある。</p> <p>このことから、「群馬県森林・林業基本計画」及び「森林吸収源対策」等の計画の達成に資するため、森林環境保全整備事業計画書を作成し、これに基づく森林整備を推進する必要がある。特に間伐については、小規模で複数の施業地を効率よく整備するため、路網整備を含めた施業の集約化を行い、県産材センター等と連携しながら搬出間伐を推進し、県産材自給率の向上、森林所有者の所得向上及び地域経済の活性化を図る。また、本計画により適切な森林整備を推進することにより水源涵養<sup>かんよう</sup>及び二酸化炭素の固定等、森林の有する多面的機能の維持増進を図る。</p> <p>このため、西毛地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業体等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>具体的には、本計画に基づき、本事業により効率的な施業に不可欠な路網整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,570ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：林業専用道 開設 9,707m</p> <p>総事業費：2,027,560 千円（税抜き 1,843,236 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 6.74</p> <p>（総便益（B）=22,033,270 千円、総費用（C）=3,270,114 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：間伐等の森林整備が必要な人工林が半数を占める地区であり、森林の多面的機能の維持増進を図るため、適正な森林整備の実施が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：路網整備を含めた施業の集約化により搬出間伐を推進し、県産材自給率の向上及び森林所有者の所得向上を図るとともに、適切な森林整備により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：群馬県

地域(地区)名：西毛<sup>せいもう</sup>

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	7,356,701	
	流域貯水便益	1,193,641	
	水質浄化便益	4,166,341	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,816,373	
環境保全便益	炭素固定便益	3,687,713	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,704	
	木材利用増進便益	10,392	
	木材生産確保・増進便益	1,159,847	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	635,558	
総 便 益 (B)		22,033,270	
総 費 用 (C)		3,270,114	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,033,270}{3,270,114} = 6.74$		

